

議会だより

2017.11.1

長生村議会

検索



みんなでがんばるぞ!!(保育所秋季合同運動会より)



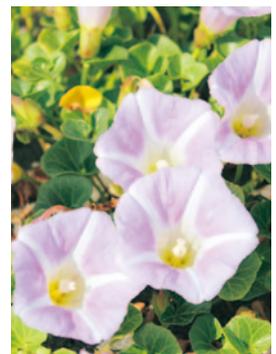
村の木「ラカンマキ」

議会定例会 9月会議

主な内容

- 定例会で決まったこと _____ 2P~
- 一般質問(5名) _____ 5P~
- 議会活動の報告 _____ 10P~

発行：長生村議会 編集：議会だより編集特別委員会



村の花「ハマヒルガオ」

議会定例会9月会議

平成29年9月会議を、9月12日から13日までの2日間で開催しました。本会議では、報告2件、認定5件、同意1件、議案5件、請願1件、発議案1件が上程されました。

一般質問では、5人の議員が村の施政を質しました。

平成28年度決算審査特別委員会を設置

平成28年度一般会計および4つの特別会計の決算認定議案が、監査委員の意見を付して上程されました。

議員による総括質疑をおこない、のちに決算審査特別委員会が設置され、7人の委員が決まりました。

- 委員長 矢部 眞男
- 副委員長 山口 裕之
- 委員 立川 智浩
- 委員 石川 吉一
- 委員 片岡 啓治
- 委員 鈴木 征男
- 委員 東間 永次

なお、監査委員の意見書の概要は次のとおりです。

監査委員の意見要旨

一般会計

村税については、収入未

済額および不納欠損額が減少したことにより、収納率が向上している。その中で、固定資産税も同様の状況を示しながら、収入未済額については相変わらず村税全体の半分以上となっている。引き続き、収入未済額の減少に努められたい。

村税以外についても、収納率は向上しているが、今後も引き続き収入未済額の解消に努められたい。

不用額については、減少に努力している姿勢はうかがえるものの、その額および予算現額に対する割合は前年度に比して増加している。引き続き確な予算編成、執行管理に努められたい。

国民健康保険特別会計

保険税の収入未済額は減少が続いているものの、なお2億円を超える状況にある。引き続きさらなる徴収に努められたい。

公共下水道事業特別会計

使用料・分担金および負担金ともに、収納率が前年度より低下している。今後とも収入未済額の減少に努められたい。

介護保険特別会計

保険料の収入未済額は減少しているが、不納欠損額は増加傾向にある。収入未済額を減少させる取り組みを継続されたい。

後期高齢者医療特別会計

保険料について、収納率は向上したものの収入未済額は増え続けている。さらなる徴収に努められたい。

平成28年度 主要施策成果説明書（抜粋）

事業	事業費(千円)	事業内容
防犯カメラ設置事業	2,477	各小学校付近に防犯カメラを2台ずつ（計6台）設置
災害避難照明設置工事	19,895	一松地区の災害避難路に太陽光パネル付照明器具を14基設置
予防接種事業	30,442	既存の予防接種の他、任意予防接種の助成対象に、おたふくかぜ・ロタウイルス・B型肝炎を新たに追加して実施
健康診査事業	36,734	既存の健診の他、新たに特定健診の対象外となっていた30歳から39歳の方を含め健康診査を実施
母子保健事業	11,380	既存の事業の他、経済的負担を軽減するため不妊治療費の一部助成を新たに実施
稲作生産効率化事業	9,400	既存の事業の他、農業機械導入支援事業として、村内に在住する農家で組織された2事業体にコンバインなどの導入費用の補助を新たに実施
国際化教育の推進	18,013	A L T（語学指導助手）を2名増員し、全小中学校に1名ずつ配置し、一貫教育の一つとして保育所にも派遣
小中学校ICT整備事業	8,579	パソコン教室の情報機器を、タブレットなどの最新機器に全校更新

一般会計補正予算を可決

既定の予算に歳入歳出それぞれ9734万9千円を追加し、予算総額を49億7408万9千円とする補正予算を可決しました。

主な歳入

◎ふるさと応援寄付金

4000万円

ふるさと納税は寄付金が予想を上回り、月平均が1000万円であることから補正するものです。

主な歳出

◎企画費

3961万9千円



村の返礼品の一つであるアイガモ米

・情報化推進事業

572万4千円

公衆無線LAN環境整備支援事業補助金を活用し、役場庁舎内のWiFi環境を整備

・地方創生事業

862万4千円

八積駅周辺整備における移転補償調査委託料など

・ふるさと応援寄付金事業

2527万1千円

ふるさと納税に関わる返礼品と郵便料およびクレジット決済などの手数料

介護保険特別会計補正予算を可決

既定の予算に歳入歳出それぞれ521万2千円を追加し、予算総額11億81万2千円とする補正予算を可決しました。

主な歳入

◎繰越金 458万1千円

返還金などの歳入不足を前年度繰越金で充当する。

主な歳出

◎償還金 458万1千円

社会保険診療報酬支払基金への前年度確定精算返還金です。

八積駅周辺まちづくり調査研究特別委員会を設置

議員発議において、村が進めている八積駅周辺環境整備事業について、施設整備や予算規模の妥当性について調査研究する必要があるため「八積駅周辺まちづくり調査研究特別委員会」を設置しました。

議員全員で構成され、調査研究終了まで特別委員会として活動します。

委員長 東間 永次

副委員長 井下田 政美

固定資産評価審査委員の選任を同意

平成29年9月30日で任期満了となる固定資産評価審査委員に、引き続き大野博志氏を選任することに同意しました。

同氏は、優れた人格・識見をもち、固定資産評価審査委員として適任であると認められたものです。



大野 博志 氏

空家等の適正管理に関する条例の一部改正を可決

放置された空家等が、倒壊などにより道路その他の公共の場所での人の生命や財産に損害を及ぼす恐れがあるときに、村が所有者等に代わって倒壊防止などの措置（緊急安全措置）を取った場合に、所有者等からその費用を徴収できるように

するため、長生村空家等の適正管理に関する条例の一部を改正する条例案を可決しました。

施行日は公布の日からです。

請願について

9月会議に提出された請願1件を、教育民生常任委員会へ審査を付託しました。

請願第3号

障がい児者の「くらしの場」の拡充を求める請願

◎請願者 障害者の生活と権利を守る千葉県連絡協議会代表 天海 正克

◎請願内容 障がい児者の「くらしの場」の早急な整備を求めるものです。

◎紹介議員

増子 勇男
関 克也



9月会議の審議結果一覧表

議案番号	件名	審議結果	
報告第6号	平成28年度長生村健全化判断比率の報告について		
報告第7号	平成28年度長生村公共下水道事業特別会計資金不足比率の報告について		
認定第1号	平成28年度長生村一般会計歳入歳出決算の認定について	決算審査特別委員会へ付託	
認定第2号	平成28年度長生村国民健康保険特別会計歳入歳出決算の認定について		
認定第3号	平成28年度長生村公共下水道事業特別会計歳入歳出決算の認定について		
認定第4号	平成28年度長生村介護保険特別会計歳入歳出決算の認定について		
認定第5号	平成28年度長生村後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算の認定について		
同意第10号	固定資産評価審査委員会委員の選任につき同意を求めることについて	同意	全員一致
議案第32号	長生村一般職の職員の給与等に関する条例の一部を改正する条例制定について	可決	全員一致
議案第33号	長生村空家等の適正管理に関する条例の一部を改正する条例制定について	可決	全員一致
議案第34号	千葉県市町村総合事務組合理約の一部を改正する規約の制定に関する協議について	可決	全員一致
議案第35号	平成29年度長生村一般会計補正予算（第2号）	可決	賛成多数
議案第36号	平成29年度長生村介護保険特別会計補正予算（第1号）	可決	全員一致
請願第3号	障害児者の「くらしの場」の拡充を求める請願	教育民生常任委員会へ付託	
発議案第4号	八積駅周辺まちづくり調査研究特別委員会設置に関する決議について	可決	全員一致
	議員派遣について	可決	全員一致

歩く・健康寿命延ばす 施策を

鈴木 征男 議員

議員

村の「ながいき健康プラン21」計画の基本目標について村の考えを伺います。

村長

この計画は、「人々が健康をコントロールし改善すること」を基本理念に「健康寿命の延伸」、「生活の質の向上」を基本目標に掲げています。

「生活習慣病の発症予防と重症化予防」、「食育の推進」を重点施策としています。

議員

群馬県中之条町の「中之条研究」の成果について見解はどのようでしょうか。

村長

日常生活のアンケートや身体活動量計を用いて、日常の身体活動と疾病の有病

度導入に向けて検討しております。

議員

村議会は昨年12月に中之条町を視察しました。村は中之条町を参考にしているようですが、議会の視察が施策検討の一助になったと思います。

来年度、導入する施策の内容についてお聞きします。

健康推進課長

素案段階ですが、身体活動量計を村で購入して住民に貸与し、日常生活活動の状況の分析、集計してその結果により、今後の活動方法の助言をおこないたいと考えています。

議員
村として「歩く運動」と「身体活動量計」などをセツトでおこなう健康増進事業を薦めてほしいが考えを伺います。

村長

「歩く」という運動に身体活動量計を用いるこの方法は、取り組みが容易で介護予防や医療費の抑制効果の期待できることから、来年

議員

安心してウォーキングできる環境整備についてお聞きします。

村長

昨年、尼ヶ台総合公園内にウォーキングコースを整備し、一部木製のチップを敷設しました。

議員

具体的なウォーキングコースはどのように検討されていますか。

健康推進課長

健康推進課が主になって、建設課、産業課、生涯学習課と協力しながら、マップづくりの準備をしています。来年度、できれば作成し、住民のみなさんに配布したいと考えております。

その他

予防接種の改善を求める質問がありました。



尼ヶ台総合公園内に整備されたウォーキングコース

子どもや障がい者に 優しい社会を！

山口 裕之 議員

子どもたちの遊び 場づくりについて

議員

放課後や休日の子どもたちの過ごし方について、村や教育委員会はどのように見ているのか伺います。

議員

遊びに対する発想力や、また、社会の抑止力によって子どもの自由な想像力が奪われているように感じます。地域の保護者やボランティアとの連携で、放課後子ども教室を開催する考えは。

村長

「長生子ども・子育て支援事業計画」での平成25年のアンケート結果では、子どもたちが放課後などを過ごす場所は複数回答ですが、「自宅」が65%、「習い事」が40%、「学童保育所」が30%となっています。議員のおっしゃるとおり、外遊びは極端に減少しています。これは、ゲーム機など、家での遊びが増えたためだと考えられます。



英語・道徳教育について

議員

英語教師能力のブラッシュアップ（磨き上げる）についてはどうしているか伺います。

教育長

夏休み期間に、小学校英語教科化に向けた県教育委員会主催の資質能力向上研修など、様々な取り組みをおこなっています。

議員

互いの考えや気持ちを英語で伝え合う学習を重視するのであれば、外国語に触れる機会（国際交流）の場を作るべきと思うが。

学校教育課長

一宮町・白子町とおこなっている中学生海外交流協議会でオーストラリアへホームステイを実施しています。

この協議会規約中には、「他国の生徒を受け入れる」としてありますので、今後検討します。



今年度のホームステイの交流会の様子

発達障がいについて

議員

村内の子どもから大人までの発達障がい者の認識と現状について伺います。

村長

精神障害者保健福祉手帳所持者のうち、発達障がいに該当する方が、本年8月末現在で3名です。

また、発達障がいと診断され、手帳を所持せず、制度を利用している方が5名います。

議員

専門的知識を有する人材確保の考えは。

福祉課長

発達障がい者の増加が懸念される中で、次年度に向けて長生郡市で構成する総合支援協議会で、療育支援コーディネーターの配置を検討し、より専門的な支援の体制整備がはかれるよう考えています。

本村では3月に「教育の日」を設けました。家庭・学校・地域および行政が一体となって取り組むことは大きな成果をもたらすと考えています。教育行政の責任者として、先頭に立ち、この教育を進めたいと思います。

来年予定の国保税試算・ 村は減少傾向

関 克也 議員

議員

国保の県単位化で、標準保険税額の試算・第3回試算の内容を伺います。

住民課長

9月7日に千葉県から3パターンの試算結果が公表されました。ただし平成29年度予算ベースの試算で、県は激変緩和しない場合と、A、B、Cの緩和措置をおこなった場合の4種類（表1）を公表しました。

議員

子どもの出生があつたときに均等割が増えるが、その国保税増額分を祝い金として助成するように提案してきたが、村の見解は。

村長

出産祝い金は、今年の4月から、第1子・第2子が

長生村の国保税試算パターン・第3回試算（表1）

1人当保険税	激変緩和しない	緩和A (3.04%)	緩和B (1.01%)	緩和C (0%)
H27保険税①	92036	92036	92036	92036
H29試算②	84208	87946	89370	89707
差②-①	-7828	-4090	-2666	-2329
増減率	-8.51	-4.44	-2.90	-2.53

1万円、第3子以降は2万円の商品券をおめでとう赤ちゃんプレゼント事業で実施しています。

残土条例・自治会 回覧を条件に追加

議員

村役場の西側の山林に残土の埋立てがおこなわれた経過、問題点について伺います。

村長

6月上旬に「山林に産廃を運搬している」の通報があり、千葉県と立ち入り調査をおこない、施工業者に確認したところ残土の運搬が判明したので、残土条例による申請をおこなうように指導し、申請を許可しました。苦情などは約10件あり、その都度住民に説明しました。

議員

残土条例に規定されているとおりの事業がおこなわれたのかどうか伺います。

村長

おおむね規定されたとおりにおこなわれています。

議員

条例に改善の余地があるかどうか、見解をお聞きます。

村長

条例改正はいまのところ考えていません。残土による土壌汚染を防止するため、関係機関（警察や県など）と連携し、取り組む考えです。

議員

残土条例におおむね規定されているとおりの事業がおこなわれたと答弁があつたが、おおむねということは、なにか問題があつたのか。

下水環境課長

事前着工がされたということと、工事概要を記載した「標識」の設置が遅れたことです。

議員

住民の不安を解消していくために、第一に現行条例の規定を活用して、徹底した対応をすることと、第二に住民と力を合わせ、住民の監視を力にすることが大切です。

条例第15条「施工されている間、見やすい場所に、氏名・名称・土砂等の採取場所、規則で定める事項を記載した標識を掲示」する

ことになっていますが、「標識」の掲示はおこなわれませんでしたか。

下水環境課長

再三の指導により設置いたしました。

議員

許可の条件に、「土地改良区等の同意を求め」、「周辺住民への説明会や、住民への周知を求め」などの条件を付けることができないか。

村長

関係自治会に回覧等により周知するよう、許可条件に付け加えるようにしたいと考えています。



九十九里浜 浸食対策会議に向けて

石川 吉一 議員

議員

千葉県では、九十九里浜浸食対策検討会議が2回おこなわれましたが、その内容について説明してください。

村長

第1回会議では、設立趣旨および要綱の説明の後、「海岸浸食の現状、今後に予想される状況、海岸利用者との意見交換会、今後の浸食対策の進め方」について検討されました。

第2回会議では、第1回会議の主な意見報告の後、「浸食対策のメカニズム、これまでの浸食対策の評価、今後の浸食対策の基本方針、浸食対策の進め方」について検討されました。

議員

第2回会議で報告された第1回会議の主な意見につ

いてお聞かせ願います。

建設課長

・浸食の要因には砂の持ち出し等、土砂の供給が減少するとその地形は維持できない。

- ・漁業資源に影響を与えない養浜をおこなってほしい。
- ・ヘッドランドの近傍では離岸流が発生し危険。
- ・ヘッドランドと養浜しないのかなどです。

議員

今後の浸食対策の基本方針について伺います。

建設課長

九十九里浜における海岸保全対策は、土砂の収支をバランスさせることで海浜保全をはかることが最も望ましいことから、サンドリサイクルの実施とヘッドラ

ンド工法を採用するとの基本方針です。

議員

ヘッドランド工法については、多くの問題を抱えており私としては設置すべきではないと考えます。

今後の浸食対策の進め方について説明してください。

建設課長

まず、南九十九里浜に7万mのサンドリサイクルの養浜をおこなうものがメインで、それから、一松海岸、中里海岸での浜崖箇所については緊急対策を先行して実施する。

また、地域の共通理解を得ていくことが大事になるのでNPOや市民活動団体との連携を取り、調査などにも参加を願うなど、実態を理解していただくことな

議員

ヘッドランド工法では良い結果が出ないので、国は補助金を打ち切った（読売新聞記事）。

検討会議の中でヘッドランド以外の対策について何

ら出てきません。

有効な浸食整備とは村長はどのようにお考えですか。

村長

正直言って解決策はないと思っております。

有効な方法は私としてはお答えすることができないので、残念ですがあらゆる手を使って努力を重ねていくことだけは、お話ししたいと思えます。

その他

「一般住宅向け補助金制度」「公用車のドライブレコーダー設置状況」「長生中学校屋上の太陽光発電パネル設置計画について」の質問がありました。



現在の一松海岸の状況

自治体クラウド導入で 経費削減を!!

井下田 政美 議員

議員

長生村で自治体クラウドを運用することが可能な基幹業務システムを伺います。

企画財政課長

自治体クラウドを運用することが可能な基幹業務システムは、理論上はすべての基幹業務システムが可能となります。

議員

現在、村で独自に運用しているシステムの導入時期と、現在までの運用経費の総額を教えてください。

企画財政課長

導入時期は、平成元年から平成28年にかけて導入しています。
現在までのシステムの運用経費の総額は、約11億8200万円です。

議員

自治体クラウドの導入に対する国の財政的支援はありますか。

企画財政課長

国の財政支援は、自治体クラウドの導入経費の2分の1が特別交付税措置されることになっています。

議員

長生郡市7ヶ市町村が電算システムを単独導入していますが、各市町村のシステム業者はわかりますか。

企画財政課長

郡市内の状況ですが、戸籍システム、健康管理システムは全市町村同一業者で、それ以外のシステムは、白子町を除き他の6市町村が同じ業者です。

議員

総務省のホームページを見ると、自治体クラウドを先行導入している運営団体の半数以上で、3割から6割のコスト削減を確認することができそうです。

村の電算システム委託経費の半額、約5億9000万円が削減できることとなります。

長生郡市内においても、各市町村で独自に管理・運用している数多くの業務システムを、自治体クラウドによる共同運用をすべきと思います。見解を伺います。

企画財政課長

自治体クラウドの導入については、推進をはかるべきものと考えていますが、各市町村の導入形式や導入形態がさまざまであり、共同歩調をはかる必要があると考えております。

議員

小高村長は郡町村会会長として、大幅なコスト削減効果が期待できる自治体クラウドの導入について、合意形成に向け旗を振るべきだと思います。見解を伺います。

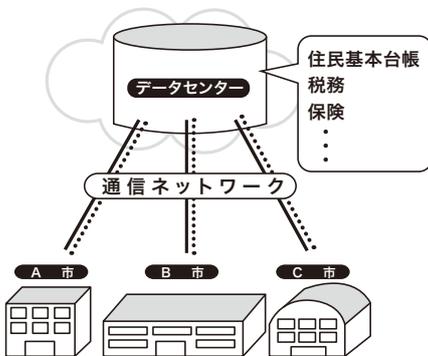
村長

自治体クラウドのよさはよくわかりました。
今後、皆で一緒にやらないかと、投げかけていきたいと思えます。

その他

「高齢者等に対するゴミ出し支援について」と「福祉タクシー事業の一時的利用の拡充について」の質問がありました。

自治体クラウド (イメージ)



※自治体クラウドとは
自治体が情報システムを庁外のデータセンターに保有・管理し、通信回線を経由して利用する形態です。



基幹業務システムのクラウド化を

の 報 告



地震・津波避難訓練

10月15日(日)午前9時から地震・津波避難訓練がおこなわれました。

今年の訓練は、津波高10mを想定して実施しました。避難訓練を通じて、地域・家庭で定める避難経路、一次避難場所および二次避難場所を確認するとともに地域防災力向上を目的としました。



防災用品の使用方法を確認しました(竜宮台築山公園)



救命講習もおこなわれました(一松小学校)

整備された避難道路を利用し、内陸への避難および津波避難施設3ヶ所への避難経路の確認、防災備蓄品などの取り扱いや避難所機能の周知をはかりました。また、一松小学校体育館において、長生分署の消防職員の指導によるAEDの操作と救命講習を実施しました。

議員・職員合同研修会

10月6日、長生郡町村議会議員・事務局職員の合同研修会が開催され、来賓として参議院議員・豊田俊郎氏、元衆議院議員・各町村長が出席されました。

研修会では、講師に内閣府地方分権改革推進室参事官・岩間浩氏を招き「地方の声で国の制度が変わる」地方分権改革を活用した制度・行政の「リノベーション」と題して講演がおこなわれました。岩間浩氏は、地方分権改革を進めるには各自治体が自



講師の岩間 浩氏



熱心に聞き入りました

らの判断・裁量で独自のルールや基準を決められるようにすることが必要なため、国の制度等を見直し、国の関与・規制を絞り込み、地方公共団体の条例制定権を拡大したと。また、国の制度改革に関する提案をおこない、実情に応じた地域課題の解決が可能になることについて、例題を挙げながら熱心に説いてくださり、大変有意義な研修をすることができました。

議会活動



議員派遣視察



富山学園の施設内を見学（南房総市）

昨年4月に小中一貫教育が制度化され、地域の実情を踏まえた取り組みが進められているなかで、10月3日に富山学園の施設一体型一貫教育、4日に箱根町の施設分離型一貫教育を視察しました。

◎南房総市立富山学園
教育委員会が保育も所管し、こども園や学童保育を併設した全国初の保幼小中一貫校を開校しました。経済基盤が脆弱な地域にあつて、南房総に残っても



活発な質疑がおこなわれました（箱根町）

離れても通用する人材の育成をめざしています。

◎箱根町
地理的条件などにより、施設分離型を推進しており、①地域教育②知育③徳育④体育の4つを柱とする「箱根教育」を各校の普遍的な教育理念として、観光業を担うリーダーの育成をめざしています。

分離型のため教員の連携が困難で、小中両方の教員免許を有する教員の確保が課題とのことでした。

総務経済常任委員会



内水面水産研究所を訪問

本年3月の議会報告会において、村の特産品のひとつである青のりの不作および一宮川河口の土砂堆積についての質問がありました。

この調査研究をおこなうため、6月会議において総務経済常任委員会から所管事務調査の申し出があり、7月24日・10月16日に調査を実施しました。

◎青のりの不作調査
勝浦水産事務所職員同席のもと、佐倉市の内水面水産研究所を訪問しました。



一宮川河口を視察

研究所では「気温 水温 塩分濃度、透明度、養殖場の上・中・下段の塩分、温度など様々な要因に対して水産研究所で生産者共に協力し調査研究しているが、青のりの不作の原因確定には至っておらず引き続き努力する」との説明を受けました。

◎一宮川河口の土砂堆積について
長生村排水機場および一宮川河口を視察調査しました。

議長・議員が出席または参加予定の主な行事

12月	11月	10月	9月
6日～8日	27日	26日	2日
5日	23日～25日	22日	4日
長生郡市負担金審議会 議会定例会12月会議(予定)	23日	21日	5日
	20日	19日	12日～13日
	19日	18日	議会運営委員会 議会定例会9月会議 保育所合同運動会
	17日	16日	16日
	16日	15日	長生村少年の主張大会 総合開発審議会
	15日	14日	17日
	14日	13日	18日
	13日～15日	12日	19日
	13日	11日	21日
	12日	10日	22日
	11日	9日	27日
	10日	8日	29日
	9日	7日	議会運営委員会
	8日	6日	長生村敬老ながいき祭り いこいの郷竣工式 健康づくり講演会
	7日	5日	長生村広域市町村圏組合決算審査特別委員会 議会だより編集特別委員会
	6日	4日	ながいきむらスボレク祭 消防本部長生分署落成式 議員派遣(千葉県南房総市・神奈川県箱根町) 議会定例会10月会議
	5日	3日～4日	長生郡町村議会議員・事務局職員合同研修会 長生郡市広域市町村圏組合例月出納検査 地震・津波避難訓練 総務経済常任委員会
	4日	2日	議会だより編集特別委員会 長生村健康づくり推進協議会 議会だより編集特別委員会
	3日～5日	1日	長生村健康づくり推進協議会 議会だより編集特別委員会 小学校秋季大運動会 千葉県後期高齢者医療広域連合議会全員協議会 長生郡町村議会議長会研修視察 教育民生常任委員会
	3日		
	4日		
	3日～5日		
	長生むら文化祭		
	長生村ながいきフェスタ(産業まつり&C1グランプリ)		
	千葉日報創刊60周年記念式典		
	決算審査特別委員会		
	千葉県町村議会議長会定例会及び議長・副議長研修会		
	地方自治法施行70周年記念式典		
	検診分析調査委員会		
	全国町村議会議長大会		
	長生郡市広域市町村圏組合議会		
	議会運営委員会		

皆さんも議会を傍聴しませんか!!

議会は、村民の皆さんの声を村政に反映させる場です。審議がどのように行われているのか、傍聴しませんか。傍聴席は先着順で32席です。当日、役場の3階傍聴席入り口で、氏名などを記入していただきます。次の「議会定例会12月会議」は12月6日(水)から開催の予定です。



議会だよりに対する

ご意見ご感想をお寄せください。お問い合わせは下記まで。



長生村議会事務局

直通:32-4744 FAX:32-1177



議会だより編集特別委員会委員 写真左から
前列: 矢部副委員長・井下田委員長・阿井議長・片岡委員
後列: 中村委員・千葉委員・鈴木(征)委員・小倉委員



編集後記

時下、住民の皆様におかれましては御清栄のこととお慶び申し上げます。
長生村の基幹作物の稲作。
昨年は台風・長雨の影響により収穫不能な水田が見受けられましたが、今年はほとんど収穫されたようで農家の皆さんも安堵されていることと思います。
さて、現在の世界情勢は北朝鮮の核実験やミサイルの発射により混沌とし、特に日本・韓国・アメリカ力にとって脅威となっております。
同盟国のアメリカ力が日本を守るのか一抹の不安も残るなか、偶発的な衝突が勃発しないよう望みます。
議会では、住民の皆様の意見をより多く村政に反映させるべく努力しております。
毎年3月に議会報告会を開催しておりますので、住民の皆様が一人でも多く参加されますようお願い申し上げます。
(副委員長)